

令和2年度（2020年度）

熊本県環境センター事業実績報告書



熊本県環境センター

ごあいさつ

令和2年度は、7月に県南地域を中心に記録的な豪雨に襲われ、甚大な被害が発生しました。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態に陥り、非常に大きな変化があった1年となりました。熊本県環境センターにおいても、臨時休館やイベントの中止または延期を余儀なくされました。また、県内の公立小学5年生全員を対象とした「水俣に学ぶ肥後っ子教室事業」での来館の受け入れも中止となりました。一日でも早く新型コロナウイルスが収束し、環境センターに活気が戻ることを願います。

さて、熊本県環境センターは、水俣病の教訓を活かしながら学び、考えるための施設として、平成5年8月に水俣市に開館しました。令和2年度末で87万人を超える来館者がありました。当センターでは、ゴミ問題や水問題などの地域問題から地球全体に至る様々な規模で起きている環境問題や、自然との共生や調和のあり方などについて、持続可能な環境教育の理念（ESD）のもと、「学ぶ」「感じる」「体験する」をキーワードに、様々な事業を進めています。また、職員や専門家等が地域や学校を訪問する出前講座、川辺や干潟での体験学習など、開館以来、多くの皆様にご活用いただいています。

館内には、「環境シアター」「学習ルーム」「会議室」「情報プラザ」及び「エコ・ステージ」等の施設があり、環境に関する情報を提供しています。平成31年3月には、「エコ・ステージ」を含む常設展示を大幅にリニューアルし、喫緊の課題であるにも関わらず身近に具体的な現象が少ないために理解・説明しにくい「地球温暖化」に関する内容を充実させました。国内では初めての試みと言われております大画面のスクリーンを使った気候変動シミュレーション、地球温暖化で起こるスーパー台風や急激な海面上昇から熊本を守る環境行動をゲーム感覚で学ぶコーナーなども新設しました。このまま温暖化が続くと100年後の熊本が、地球がどうなってしまうのか、子どもから大人まで幅広く楽しみながら学べるよう工夫を凝らした施設としました。多くの方々に環境センターへ足を運んでいただき、最新の施設で様々な環境問題を学んでいただくことを期待しています。

この事業実績報告書は、令和2年度における熊本県環境センターの活動の状況を県民の皆様にご理解いただくためにまとめたものです。

今後とも、熊本県環境センターを県民の皆様幅広くご利用いただき、持続可能な社会づくりの一環として、環境にやさしい行動の輪が県内外に広がっていくことを念願しています。



熊本県環境センター
館長 篠原 亮太

目 次

I 熊本県環境センターの事業概要

1	熊本県環境センターの目的	2
2	事業体系	2
3	環境情報提供・学習のための施設	3
4	組織体制	4
5	コロナ禍における利用者増に向けた主な取組	4

II 令和2年度事業概要

1	環境学習促進事業一覧	4
2	各事業の概要	6
(1)	環境文化普及事業	6
(2)	環境体験学習事業	9
(3)	環境学習指導事業	9
(4)	環境行動推進事業	11
(5)	動く環境教室進事業	12
(6)	こどもエコセミナーサポート事業	15
(7)	県北環境教育地域連携推進事業	17
3	管理運営	17
(1)	情報プラザの運営	17
(2)	来館者への対応	18
(3)	来館者数	19
ア	月別来館者数（全数（受付記帳及び未記帳の合計人数））	19
イ	年度別来館者数（全数（受付記帳及び未記帳の合計人数））	19
ウ	居住別来館者数（受付記帳の人数）	20
エ	地域別来館者数（受付記帳の人数）	20
オ	団体利用状況（受付記帳の人数）	21
カ	小学校団体利用状況（受付記帳の人数）	22
(4)	季刊誌「エコタイムズ」の発行	23

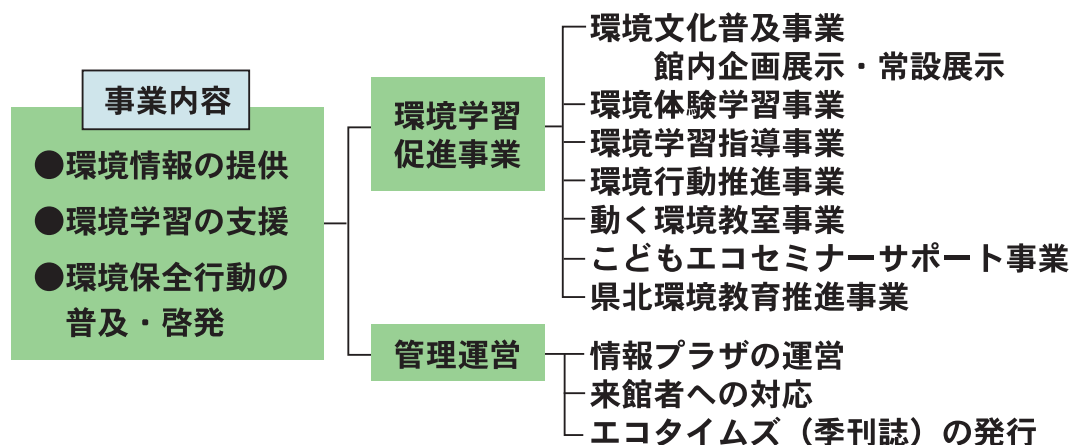
I 熊本県環境センターの事業概要

1 熊本県環境センター設置の目的

熊本県環境センターは、地球にやさしい行動を促すための環境情報・学習の拠点施設として、環境問題について正しい理解と認識を深め、快適な環境の保全・創造に関する意識の高揚を図ることを目的に、平成5年、水俣市に設置されました。

2 事業体系

(1) 体系図



(2) 各事業の内容

環境文化普及事業

環境問題に対する関心を高めるため、制作体験などのイベントを実施する事業です。また、来館者に対する啓発を目的とした館内企画展示も行います。

環境体験学習事業

自然を感じる力や環境教育のベースとなる感性を養うため、「星空観察会」などの体験学習を実施する事業です。

環境学習指導事業

各地域での環境学習を支援するため、環境センターに登録された指導者(登録者:63名)を派遣する事業です。また、「干潟どろんこ観察会」などを実施し、種々の体験をとおして環境について広く考える機会を設けます。

環境行動推進事業

こどもエコクラブ壁新聞&絵日記のコンクールを実施し、こどもエコクラブ活動の拡大を図るとともに、活動を支援する事業です。また、「グリーンカーテンを作ろう」などを実施し、日々の暮らしを見つめ、環境にやさしい行動を学ぶ場を設けます。

動く環境教室事業

小・中学校、公民館、その他の団体の要請に応じて環境センターの環境指導員や職員を県内各地に派遣し、環境学習(出前講座)を実施する事業です。

また、それぞれの地域で環境にやさしい行動や取組を推進するエコロジスト・リーダーを養成するため、講座を開催するとともに、養成したエコロジスト・リーダーが県内各地に出向き、自然体験・伝統文化など、楽しみながら学ぶ場の提供を行います。

こどもエコセミナーサポート事業

「環境絵画コンクール」を実施し、子どもたちの環境保全意識の向上を図ることで、来館学習事業の効果を一層高める事業です。

県北環境教育推進事業

県北の地域資源を活かしながら環境教育を実施することで、地域活性化を図る事業です。

管理運営

環境センター敷地内の建築物や附属施設の管理、来館者に対する施設案内や環境学習、情報プラザでの図書や映像資料の管理・貸出を行う事業です。その他、イベントや環境に関する情報提供のため、季刊誌「エコタイムズ」を年2回発行しています。

※各事業は、熊本県水俣・芦北地域振興計画に位置付けられています。

3 環境情報提供・学習のための施設

- 情報プラザ：環境に関する図書約11,000冊のほか、映像資料約600本等を所蔵しており、館内閲覧及び視聴ができ、一部を除いて館外貸出も行っています。
- 展示室：平成31年(2019年)3月21日にリニューアルし、地球温暖化に特化した展示室「エコ・ステージ～地球の未来～」になりました。11mの大型スクリーンで将来の地球を映し出す「地球温暖化による気候変動シミュレーション」、周囲210°のマルチスクリーンを使った体験型の展示「地球温暖化体験」など、幅広い方々が学習できる展示となっています。
- 環境シアター：環境学習の会場として使用しているほか、様々な団体への貸し出し(有料)も行っています。
- 会議室：環境学習を行うほか、様々な団体の会議や研修場所として貸し出し(有料)も行っています。
- 学習ルーム：環境学習や制作体験の会場として使用しています。
- 展望室：リ・ガラスアートや万華鏡等の作品をリサイクルギャラリーとして展示しているほか、熊本県のジオラマを展示しています。
- こどもエコクラブコーナー：こどもエコクラブ熊本県事務局として、ニュースレターや各クラブの取組を掲示し、応募用紙を設置してメンバー募集をしています。
- 生け垣迷路：生け垣で作られた迷路の分岐点に環境に関するクイズを設置しており、遊びながら楽しく環境について学ぶことができます。



情報プラザ



展示室 (エコ・ステージ)



環境シアター



展望室



生垣迷路

4 組織体制

館長 所長 参事(2) 主任技師(1) 環境指導員(6)
 司書(1) 環境教育地域連携推進員(1) ※()の数字は人数

5 コロナ禍における利用者増に向けた主な取組

- ・環境センターホームページリニューアル
 館内・外4地点(エコ・ステージ2地点、芝生広場2地点)のVR映像掲載
- ・くまもと電子申請窓口よろず申請本舗を活用したイベント等申込の電子化
- ・屋外案内板の更新
- ・モニターを使った映像展示の開始
 ドローン映像や館内・外の風景を展示
- ・アンケート用紙の見直し
- ・廃棄図書無料配布

II 令和2年度事業概要

1 環境学習促進事業一覧

(事業ごと・実施日順)

開催日	行事名	場 所	参加人数
— — 8/1 10/18 11/28 毎月 —	《環境文化普及事業》 環境センターへ行こう 作って飛ばそう!ペットボトルロケット 万華鏡を作ろう 夏の磯のいきもの観察会 UVビーズストラップ&化石レプリカを作ろう まつぼっくりでクリスマスツリーを作ろう 企画展示・常設展示 人形劇	環境センター 環境センター 環境センター	中止※ 中止※ 36人 20人 23人 — 中止※
— 9/12 —	《環境体験学習事業》 地引き網体験 星空観察会 春の自然体験教室	熊本県立あしきた青少年の家 環境センター 熊本県立あしきた青少年の家 水俣市久木野ふるさとセンター「愛林館」	中止※ 21人 中止※
9/19 — 年間17回	《環境学習指導事業》 干潟どろんこ観察会 春のこどもまつり 環境教育指導者派遣	住吉海浜公園(宇土市) 環境センター 県内各地	20人 中止※ 514人
6/7 —	《環境行動推進事業》 グリーンカーテンを作ろう エコライフ体験教室	環境センター 合志市総合センター「ヴィーブル」	8人 中止※
年間26回 8/29~ 8/30 年間12回	《動く環境教室事業》 動く環境教室 エコロジスト・リーダー養成講座 エコロジスト・リーダー派遣	県内各地 環境センター 県内各地	1,108人 18人 310人
7月~9月	《こどもエコセミナーサポート事業》 環境絵画コンクール	環境センター	応募者数 1,866人

開催日	行事名	場所	参加人数
—	《県北環境教育推進事業》 エコアくまもと見学&まじやく釣り体験	最終処分場「エコアくまもと」及び荒尾干潟	中止※
—	ペットボトルでエコピザ作り	ほっと岳間(山鹿市)	中止※
—	竹あかり制作	七城公民館(菊池市)	中止※
—	バードウォッチング&リ・ガラスアートを作ろう	荒尾干潟水鳥・湿地センター	中止※
3/20	春の親子エコクラフト教室	あしきた青少年の家	79人

参加人数計 4,023 人

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止しました。

4月1日(水曜日)から5月11日(月曜日)までは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2月1日(月曜日)から3月31日(水曜日)までは、空調改修工事のため、臨時休館としました。

企画展示一覧

(実施日順)

期間	企画展示名
5/27～6/28	「湧水・地下水・水辺」写真展
7/8～8/23	「海のいきもの」写真展
9/2～10/11	「手作りエコバッグ」展
10/24～11/24	「環境絵画コンクール」展

常設展示一覧

期間	常設展示名	展示場所
各展示とも 4/1～3/1	「環境センターでこんなことができるよ」 「熊本の水資源保全」 「くまエコショップ水俣店」 「やってみよう!おうちでできること」 「エコライフ宣言」 「ミニ水族館」 「水俣市のごみ分別」	1階ロビー (楽しく学ぼう! 体験スペース)
	「環境問題パネル」	2階環境シアター前
	「こどもエコクラブの紹介」 「おたよりコーナー」	2階会議室前
	「リサイクルギャラリー」 「熊本県ジオラマ」	2階展望室



太陽光発電



ハイブリッドカー



自然光の採光



LED照明



モニターを使った映像表示

2 各事業の概要

(1) 環境文化普及事業

●環境センターへ行こう

ものづくりなどの体験活動を通して環境について考えてもらうことを目的に、年間で3回のイベントを実施し、のべ79人が参加しました。

夏の磯のいきもの観察会

期 日 8月1日(土)

参加人数 36人



UVビーズストラップ&化石レプリカを作ろう

期 日 10月18日(日)

参加人数 20人



まつぼっくりでクリスマスツリーを作ろう

期 日 11月28日(土)
参加人数 23人



※新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館や、空調改修工事のための休館により、イベント数が少なくなっております。

●企画展示

〈5～6月〉「湧水・地下水・水辺」写真展

期 日 5月27日(水)～6月28日(日)
概 要

熊本県内の湧水や川辺等に関する写真を展示しました。菊池溪谷や鍋ヶ滝(阿蘇郡小国町)など、有名スポットの写真を展示し、美しい風景を楽しんでもらうことで、来館者に水質保全について考えていただきました。



〈7～8月〉「海のいきもの」写真展

期 日 7月8日(水)～8月23日(日)
概 要

水俣の磯や海中にすむ生きものの写真約40点を展示しました。環境センター周辺の海の生物や、その生きものが擬態している様子など、身近な環境の中にも多くの生きものが生息していることを知っていただきました。



〈9～10月〉「手作りエコバッグ」展

期 日 9月2日(水)～10月11日(日)
概 要

レジ袋の不必要な消費を減らすため、手作りのエコバッグを展示しました。裂き織り、竹細工、Tシャツの再利用など様々な工夫により作られたエコバッグ16点を12名の方々から提供していただきました。来館者には様々なエコバッグを楽しみながらレジ袋の削減について考えていただきました。



〈10～12月〉「環境絵画コンクール」展

期 日 10月24日(土)～11月24日(火)
概 要

「環境絵画コンクール」として作品を募集したところ、県内の小学校93校から1,866点の応募があり、その中から選定した特選12点、入選24点、佳作24点を展示しました。



●常設展示

「環境センターでこんなことができるよ」

環境センターで実施している事業を紹介するとともに、パンフレット類を配架しました。

「熊本の水資源保全」

県内の地下水保全に関する取り組みや名水の情報、水処理の技術に関する情報を展示しました。

「くまエコショップ水俣店」

環境にやさしい買い物について学んでいただくため、くまモンに案内してもらいながら買い物の疑似体験ができるコーナーを設けました。また、併せて資源の循環とフードマイレージに関するパネル展示を行いました。

「やってみよう！おうちでできること」

環境問題に関する学習を踏まえたうえで、各自が家庭でできることを実践してもらうため、3Rなどのごみ減量につながる取り組みや省エネルギーにつながる製品等を展示しました。

「エコライフ宣言」

県民一人ひとりの生活や各事業所の事業活動の中で、環境にやさしい取り組みを行うことを宣言するスペース「エコライフ宣言」を設置し、事業の内容に関するパネルを展示しました。

「水俣市のごみ分別」

環境モデル都市づくりを目指す水俣市の取組を紹介するパネルを展示するとともに、「ごみ23分別」の分類を表や実物で紹介しました。

「ミニ水族館」

淡水にすむ魚類のうち、県内に生息する代表的な魚類として、メダカやカワムツなどを展示しました。

また、県内の河川にはカダヤシやミシシippアカミミガメなどの外来種も生息していることなどを紹介しました。

「環境問題パネル」

「PM2.5」や「光化学スモッグ」、「酸性雨」など、環境問題に関連したパネルを展示しました。

「リサイクルギャラリー」

ガラスをリサイクルしたり・グラスアートやトイレットペーパーの芯等を再利用した万華鏡など、環境センターの館内イベントや出前講座「動く環境教室」で制作する作品を展示しました。

「熊本県ジオラマ」

天草地方の御所浦島と鹿児島県の獅子島・長島が見渡せる展望室に、熊本県の地形が立体的にわかるようにジオラマを設置しました。

「こどもエコクラブの紹介」

こどもエコクラブについて紹介するとともに、全国事務局から発行される情報誌を展示しました。また、県内のこどもエコクラブの環境保全活動の取組をまとめた壁新聞を展示しました。

「おたよりコーナー」

環境学習で来館した子どもたちの感想を紹介しました。



熊本の水資源保全



くまエコショップ水俣店



やってみよう！
おうちでできること



水俣市のごみ分別



ミニ水族館

(2) 環境体験学習事業

●星空観察会

期 日 9月12日(土)

実施場所 環境センター

参加人数 21人

概 要

環境教育指導者の艶島敬昭氏(熊本県民天文台台長)を講師に招き、実施しました。

星座や太陽系のお話の後、外に出てデジタルカメラを使った星空の撮影に挑戦しました。星空の観察を通して、参加者に大気環境や地球環境について考えてもらうことができました。



(3) 環境学習指導事業

●干潟どろんこ観察会

期 日 9月19日(土)

実施場所 住吉海浜公園

参加人数 20人

概 要

環境教育指導者の森敬介氏(ひのくにベントス研究所所長)を講師に迎え、住吉海浜公園の干潟周辺で開催しました。干潟にすむ生き物の観察などを行い、参加者は初めて見る生き物に興味を持っていました。



●環境教育指導者派遣

県内で実施される環境学習会や自然観察会などに環境センターが登録した環境の専門家(環境教育指導者)を派遣する制度で、17回派遣しました。(参加者総数514人)

	実施日	派遣指導者	依頼者	派遣内容(演題等)	参加人数
1	6月28日	高田 敦子	大光寺	裂き織体験	24人
2	6月28日	坂本 真理子	子育てサークルみかん	生き物観察	31人
3	7月18日	松本 達也	熊本県博物館ネットワーク センター MPC 貝類調べ隊	貝類の調査・観察	10人
4	7月21日	寺崎 昭典	南小国町立りんどうヶ丘小学校	夏の草原を観察しよう	11人
5	8月20日	高田 敦子	スマイル	裂き織体験	3人
6	9月4日	小島 徹	水俣市立水俣第一中学校	人の生活が川に与える影響	103人
7	9月15日	井上 真希	熊本学園大学付属中学校	熊本の自然から学ぶこと	78人
8	9月20日	中田 裕一	豊野町みどりの少年団	みんなの川の水環境調査	14人
9	9月29日	寺崎 昭典	阿蘇市立阿蘇小学校	阿蘇の草原学習	51人
10	9月30日	高田 敦子	スマイル	裂き織体験	4人
11	10月18日	森 敬介	一般社団法人スタディライ フ熊本	海辺の生き物観察	14人
12	11月5日	篠原 亮太	益城町立広安西小学校	SDGsを取り入れたこれからの 環境教育の在り方	50人
13	11月8日	吉永 敏之	公益財団法人熊本市上下 水道サービス公社	地下水の保全と節水について	10人
14	11月10日	田北 真美	天草市社会福祉協議会	牛乳パックで和紙作り	32人
15	11月16日	森 敬介	特定非営利活動法人 植物資源の力	海岸の生物調査	32人
16	11月27日	古賀 実	熊本県高等学校教育研究会 生物部会	環境有害化学物質の分析技術 と生体毒性評価	34人
17	3月11日	鈴木 敏雄	雁回山植物を見る会	「キノコ」について	13人

(4) 環境行動推進事業

●グリーンカーテンを作ろう

期 日 6月7日(日)

実施場所 環境センター

参加人数 13人

概 要

環境センターでゴーヤの苗植え体験を実施しました。

家庭でも取り組みやすいグリーンカーテン作りを体験してもらうことで、楽しみながらエコライフを実践する方法を学んでいただきました。



●こどもエコクラブ熊本県事務局

こどもエコクラブの熊本県事務局として、壁新聞コンクールなどを実施しました。

令和2年度の熊本県こどもエコクラブの登録数は以下のとおりです。

また、各市町村の環境担当者に対して、こどもエコクラブの概要と事務手続き、市町村事務局としての活動支援などについて説明しました。

No.	市町村	ク ラ ブ 名	メンバー数	サポーター数
1	熊本市	HIGO・ECO・ずっと	5人	2人
2	熊本市	熊本市立黒髪小学校 緑化ボランティア隊	25人	1人
3	八代市	鏡エコファイターズ	12人	3人
4	八代市	Minami ファミリー	1人	1人
5	八代市	次世代のためにがんばる会 こどもエコクラブ	7人	5人
6	八代市	金子クラブ	2人	3人
7	水俣市	水俣市立水俣第一小学校	459人	41人
8	水俣市	LOVE FOR 久木野	19人	10人
9	宇土市	はなっこクラブ	53人	16人
10	宇土市	宇土市立宇土幼稚園	61人	13人
11	宇土市	肥後っこクラブ	23人	6人
12	上天草市	教良木保育園(上天草市)	10人	3人
13	天草市	もぐし海のこども園	19人	18人
14	益城町	広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)	17人	2人
15	益城町	再春館一本の木キッズクラブ	40人	24人
合計(15クラブ)			753人	148人

(5) 動く環境教室事業

環境センターの環境指導員や職員が県内各地に出向いて環境学習を行う制度(出前講座)で、26回実施しました。(参加者総数 1,108人)

No.	期 日	依 頼 者	実 施 内 容	参加人数
1	7月26日	くまもと森都心プラザ図書館(熊本市)	リ・グラスアート	21人
2	8月8日	龍田まちづくりセンター 龍田児童館(熊本市)	リ・グラスアート	7人
3	8月27日	公益財団法人熊本県環境整備事業団(南関町)	水生生物調査	9人
4	9月13日	熊本市南部まちづくりセンター	リ・グラスアート	25人
5	9月19日	花園公民館(宇土市)	万華鏡	35人
6	10月7日	八代市立日奈久小学校	環境講話	8人
7	10月7日	湯前町立湯前中学校	環境講話	33人
8	10月11日	水俣市立水俣第二小学校第1学年PTA	リ・グラスアート	51人
9	10月11日	熊本市西部交流センター	リ・グラスアート	9人
10	10月15日	山都町立中島小学校・潤徳小学校	環境講話	22人
11	10月21日	水俣市立袋小学校	環境講話	34人
12	10月24日	水俣市立袋小学校第1学年PTA	UVビーズ ストラップ	53人
13	10月27日	水俣市立水俣第一小学校	水生生物調査	76人
14	10月28日	おこば保育園(人吉市)	リ・グラスアート	44人
15	10月31日	菊池市立泗水東小学校第1学年PTA	リ・グラスアート	46人
16	11月14日	水俣市立水俣第二小学校第5学年PTA	UVビーズ ストラップ	105人
17	11月14日	水俣市立袋小学校第3学年PTA	万華鏡	61人
18	11月20日	八代市立昭和小学校PTA	リ・グラスアート	23人
19	11月21日	社会福祉法人緑翠園 緑川保育園(宇土市)	万華鏡	22人
20	11月23日	しろちどりの会(荒尾市)	リ・グラスアート	11人
21	12月4日	大津町立室小学校	環境講話	87人
22	12月12日	宇土公民館(宇土市)	リ・グラスアート	23人
23	12月13日	熊本市立城南図書館	万華鏡	10人
24	2月9日	熊本市立託麻南小学校	リ・グラスアート	175人
25	2月25日	荒尾市立八幡小学校	環境講話	46人
26	3月17日	熊本県立宇土中学校	化石レプリカ	89人

●エコロジスト・リーダー養成講座

期 日 8月29日(土)～8月30日(日)(2日間)

実施場所 8月29日(土) 熊本県発電総合管理所
8月30日(日) 熊本県環境センター

参加人数 18人

概 要

環境問題を体系化された正確な知識として把握し、地域の環境問題や市町村の取り組みを支援できるリーダー的人材を育成することを目的に、開催しました。

1日目は、熊本県の環境への取り組みに関する講義を行い、2日目は環境センターで実施している製作体験について学んでいただきました。

講座を2日間受講していただいた方には修了証書を授与し、地域の環境に関するリーダーとして活躍していただくため「エコロジスト・リーダー」に登録していただきました。



○エコロジスト・リーダー登録者(令和3年3月31日現在)

62名



●エコロジスト・リーダー派遣制度

当センターが例年実施している「エコロジスト・リーダー養成講座」を修了した方々(エコロジスト・リーダー)を県内各地に派遣する制度で、エコロジスト・リーダーで設立した団体「エコ村伝承館」に委託して実施しました。(派遣:12回、参加総数:310人)

No.	期 日	依 頼 者	実 施 内 容	参加人数	派 遣 リーダー数
1	7月19日	ラサンテマルシェ実行委員会	伝統工芸に触れてみよう!	35人	1人
2	8月3日	放課後デイサービス事業所 バナナランド	シャボン玉、自然材料や廃材を使った遊び	18人	1人
3	8月4日	株式会社Renge (放課後等デイサービス clover ~クローバー~)	竹で水鉄砲を作ろう!	15人	1人
4	8月11日	児童保育たけのっこクラブ	紙すき	40人	2人
5	8月12日	株式会社Renge (放課後等デイサービス clover ~クローバー~)	水引リサイクルアート作り	15人	1人
6	8月16日	ラサンテマルシェ実行委員会	伝統工芸で遊んで、環境問題に触れよう	20人	2人
7	8月25日	株式会社Renge (放課後等デイサービス clover ~クローバー~)	リ・ガラスアート作り	15人	2人
8	8月25日	株式会社Renge (放課後等デイサービス RENGE ~れんげ~)	水引リサイクルアート作り	12人	2人
9	9月12日	株式会社Renge (放課後等デイサービス RENGE ~れんげ~)	かざぐるま作り	12人	1人
10	9月13日	逢桜の里(あいらのさと)	温暖化の環境学習	20人	2人
11	11月21日	楡木子ども地域食堂なごみ	環境エコを学ぼう、UVストラップ作り	50人	3人
12	12月6日	津奈木町立津奈木中学校 1年生PTA	箸づくり体験と豆つまみリレー	58人	4人

(6) こどもエコセミナーサポート事業

●環境絵画コンクール

募集期間 7月～9月
主催 熊本県環境センター、グランメッセ熊本
応募点数 1,866点(93校)
概要

県内の小学生を対象に、環境に関する絵画を募集し、93校から1,866点の作品の応募がありました。

審査の結果、特選12点、入選24点、佳作24点を選定しました。また、入賞作品の60点は「2021くまもとエコカレンダー」などに掲載しました。

<1月> 環境センター賞



熊本市立一新小学校 5年 田崎 亜弥
「天草の夕やけの海」

<2月> グランメッセ賞



益城町立広安小学校 3年 高橋 依礼奈
「だんごむし大すき」

<3月> グランメッセ賞



熊本市立大江小学校 2年 稲田 綸
「生きものいっぱい池」

<4月> グランメッセ賞



南阿蘇村立両併小学校 1年 佐藤 心寧
「ぱったとあそんだよ」

<5月> 環境センター賞



熊本市立健軍東小学校 4年 八坂 明実花
「いつまでものこしたいきれいな川」

<6月> 再春館製薬所賞



熊本市立壺川小学校 2年 岡 遼平
「たのしかった川あそび」

〈7月〉 環境センター賞



熊本市立出水小学校 5年 圓山 晴花
「きれいな蓮池の自然」

〈8月〉 グランメッセ賞



熊本市立楡木小学校 6年 山中 香桜
「あお空色の朝顔」

〈9月〉 環境センター賞



熊本市立一新小学校 6年 友口 果保
「大切にしよう。みんなの海」

〈10月〉 環境センター賞



熊本市立田迎小学校 1年 采女 照眞
「あかとんぼ」

〈11月〉 環境センター賞



熊本市立武蔵小学校 4年 坂口 虎雅
「ボクが守りたいあその山」

〈12月〉 グランメッセ賞



益城町立広安小学校 3年 西小路 りほ
「海の中のなかまたち」

(7) 県北環境教育推進事業

●春の親子エコクラフト教室

期 日 3月20日(土)
実施場所 熊本県立あしきた青少年の家
参加人数 79人
概 要

リ・ガラスアート、流木ディスプレイ及び竹あかりの制作体験活動を行いました。流木ディスプレイ制作は熊本県立あしきた青少年の家が実施し、竹あかり制作は、南関町の株式会社ちかけんプロダクツに委託して実施しました。

自然の素材やリサイクル材料を活用した制作をとおして、自然の大切さやごみのリサイクルについて考えてもらうことができました。



3 管理運営

(1) 情報プラザの運営

環境問題に関する図書や資料が自由に閲覧できます。また、新聞各紙から環境関連記事のスクラップを行い、図書とともにファイルを並べています。映像資料(DVDやビデオテープ等)に関しては、映像資料リストに整理し、来館者(主に子ども向け)の要望に応じて視聴できるようにしています。

また、環境に関する情報の収集・整理を行い、環境学習のための資料作成を行うとともに、熊本県環境センターのホームページから新着情報および蔵書検索が行えるようデータの管理を行っています。

さらに、廃棄する書籍や雑誌の有効活用のため無料配布を行ったり、月ごとに特集コーナーを設置したりして、より多くの来館者に興味・関心を持ってもらう取組を行っています。

●情報プラザ受付



●環境関連記事のスクラップ掲示



●図書貸出状況（冊数）

	小学生	一般	エコロジスト	団体貸出	職員	合計
図書 約 11,000 冊	347	193	45	572	513	1,670

●映像資料貸出状況（本数）

	学校	行政機関	企業	その他	合計
映像資料 約 600 本	0	0	0	0	0

（2）来館者への対応

団体に対しては事前の予約をお願いしており、できるだけ環境学習（講義）を受けていただくよう勧めています。令和2年度の来館者数は、2,923人（受付記帳及び未記帳の合計人数）でした。

内訳は、県内の小中学校、他県から修学旅行で訪れた中・高校生、大学生、PTA、幼稚園・保育園（保育所）など、県内外からの多種多様な団体や一般の来館者となっています。

予約団体の来館前には、環境指導員から連絡を行い、学習内容を詳細に打ち合わせ、来館者の要望に応じることができるよう対応しています。特に来館団体が学校の場合、教育課程を踏まえた対応ができるよう事前事後の学習を含め、担任教師と十分話し合い、当日の学習内容を決定しています。学習は、「水環境」「ごみ問題」「地球温暖化」の3つを主要テーマとしています。

その他、予約なしで来館された方々には、可能であれば施設案内を行っています。

一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、熊本県教育委員会が実施している「水俣に学ぶ肥後っ子教室」事業による小学5年生の来館はありませんでした。

※来館者の詳細は、次ページ以降の表のとおり

(3) 来館者数

ア 月別来館者数（全数（受付記帳及び未記帳の合計人数））

月	来館者数 (人)	開館日数 (日)	日平均 (人/日)	備考
4月	0	0	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館(5月11日まで)
5月	80	18	4	
6月	161	25	6	
7月	124	26	5	
8月	458	26	18	
9月	327	25	13	
10月	738	27	27	
11月	597	25	24	
12月	267	24	11	
1月	171	24	7	
2月	0	0	—	空調改修工事のため休館
3月	0	0	—	
合計	2,923	220	13	

※「日平均」は小数点以下四捨五入

イ 年度別来館者数（全数（受付記帳及び未記帳の合計人数））

年度	来館者数 (人)	開館日数 (日)	日平均 (人/日)	備考
平成5年度	20,640	186	111	8月20日 開館
平成6年度	27,292	307	89	
平成7年度	24,142	308	78	5月13日 来館5万人達成
平成8年度	26,154	305	86	
平成9年度	23,937	306	78	5月10日 来館10万人達成
平成10年度	28,995	309	94	3月21日 来館15万人達成
平成11年度	30,143	308	98	
平成12年度	32,055	307	104	10月25日 来館20万人達成
平成13年度	34,430	307	112	
平成14年度	40,203	306	131	5月10日 来館25万人達成
平成15年度	39,111	307	127	7月16日 来館30万人達成
平成16年度	38,415	306	126	10月28日 来館35万人達成
平成17年度	38,182	305	125	2月28日 来館40万人達成
平成18年度	37,406	308	121	
平成19年度	36,206	309	117	6月27日 来館45万人達成
平成20年度	34,199	308	111	10月29日 来館50万人達成
平成21年度	31,441	307	102	
平成22年度	30,064	308	98	9月15日 来館555,555人達成
平成23年度	32,288	308	105	11月29日 来館60万人達成
平成24年度	32,151	308	104	
平成25年度	34,975	306	114	9月4日 来館65万人達成
平成26年度	30,763	308	100	1月16日 来館70万人達成
平成27年度	34,448	308	112	
平成28年度	32,400	307	106	9月21日 来館75万人達成
平成29年度	34,776	307	113	11月28日 来館80万人達成
平成30年度	32,910	308	107	
令和元年度	29,775	81	106	9月6日 来館85万人達成
令和2年度	2,923	220	13	
合計	870,424	8,368	104	

※「日平均」は小数点以下四捨五入

ウ 居住別来館者数（受付記帳の人数）

（人）

月	県内		九州	その他	（外国）		月合計
		（水俣市）					
4 月							0
5 月	42	17	3				45
6 月	114	67	17				131
7 月	46	26	8	4			58
8 月	331	110	33	7			371
9 月	224	55	22	6			252
10 月	563	44	59	10			632
11 月	369	80	53	7			429
12 月	172	100	10	32			214
1 月	149	88	4	8			161
2 月							0
3 月							0
合 計	2,010	58	209	74	0		2,293
比 率	87.7%	25.6%	9.1%	3.2%	0%		100%

エ 地域別来館者数（受付記帳の人数）

（人）

月	県内		九州	その他	（外国）		月合計
		（水俣市）					
平成5年度	13,604	—	3,779	1,154	—		18,537
平成6年度	15,209	5,614	5,262	2,359	191		22,830
平成7年度	13,857	4,145	4,493	1,641	99		19,991
平成8年度	16,017	5,302	4,991	1,580	152		22,588
平成9年度	13,417	4,457	4,789	1,944	69		20,150
平成10年度	12,486	2,549	4,833	2,186	82		19,505
平成11年度	15,296	2,628	5,007	1,883	102		22,186
平成12年度	16,047	2,608	5,981	3,158	202		25,186
平成13年度	19,193	1,950	6,884	2,458	175		28,535
平成14年度	26,595	2,353	6,546	2,697	180		35,838
平成15年度	25,719	2,072	6,821	2,345	251		34,885
平成16年度	24,805	1,859	6,311	1,802	246		32,918
平成17年度	23,363	2,289	5,775	942	278		30,080
平成18年度	22,497	1,700	5,357	1,474	202		29,328
平成19年度	22,867	1,853	4,357	1,051	235		28,275
平成20年度	21,711	2,051	3,487	1,659	378		26,857
平成21年度	21,400	1,643	3,986	704	162		26,090
平成22年度	20,742	1,110	2,535	970	188		24,247
平成23年度	23,736	955	2,675	419	104		26,830
平成24年度	24,429	901	2,179	308	112		26,916
平成25年度	24,785	1,515	2,466	2,430	1,210		29,681
平成26年度	23,427	1,499	2,315	758	91		26,500
平成27年度	23,317	1,462	1,706	1,220	100		26,243
平成28年度	24,084	1,475	2,032	1,343	299		27,459
平成29年度	26,028	2,082	3,119	952	488		30,099
平成30年度	25,189	2,136	2,808	934	520		28,931
令和元年度	24,382	1,811	1,270	393	155		26,045
令和2年度	2,010	587	209	74	0		2,293
合 計	566,212	60,606	111,973	40,838	6,271		719,023

オ 団体利用状況（受付記帳の人数）

団体分類 月	小学校		中学校		高等学校・大学		教職員・PTA	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月								
5月								
6月								
7月								
8月			1	36			3	92
9月	2	30			1	64		
10月	5	202	4	231				
11月	4	77					1	40
12月	2	98			1	6	1	10
1月	3	50						
2月								
3月								
合計	16	457	5	267	2	70	5	142
比率	30.2%	34.0%	9.4%	19.9%	3.8%	5.2%	9.4%	10.6%

団体分類 月	自治会等		議会・行政機関		その他		総計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月							0	0
5月							0	0
6月			1	10	3	34	4	44
7月							0	0
8月					4	92	8	220
9月			1	5	3	38	7	137
10月					3	53	12	486
11月			3	42	5	113	13	272
12月							4	114
1月					2	22	5	72
2月							0	0
3月							0	0
合計	0	0	5	57	20	352	53	1,345
比率	0.0%	0.0%	9.4%	4.2%	37.7%	26.2%	100.0%	100.0%

カ 小学校団体利用状況

月別利用状況

月	指定校		その他	
	団体数	人数	団体数	人数
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月			2	30
10月			5	202
11月			4	77
12月			2	98
1月			3	50
2月				
3月				
合計	0	0	16	457

年度別利用状況

月	指定校		その他	
	団体数	人数	団体数	人数
平成14年度	156団体	6,332人	108団体	8,750人
平成15年度	163団体	6,216人	116団体	9,811人
平成16年度	144団体	6,276人	145団体	10,571人
平成17年度	156団体	6,686人	163団体	10,464人
平成18年度	141団体	7,023人	174団体	9,396人
平成19年度	128団体	6,307人	185団体	9,711人
平成20年度	139団体	6,591人	176団体	9,183人
平成21年度	135団体	6,041人	176団体	9,785人
平成22年度	122団体	5,897人	171団体	9,202人
平成23年度	387団体	18,419人	18団体	721人
平成24年度	381団体	18,030人	25団体	1,279人
平成25年度	364団体	17,729人	16団体	923人
平成26年度	357団体	17,352人	17団体	1,023人
平成27年度	360団体	17,370人	8団体	380人
平成28年度	356団体	17,081人	17団体	1,012人
平成29年度	349団体	17,356人	22団体	1,101人
平成30年度	337団体	17,598人	15団体	835人
令和元年度	331団体	17,591人	13団体	787人
令和2年度	0団体	0人	16団体	457人

※「指定校」は、水俣に学ぶ肥後っ子教室事業(こどもエコセミナー事業)の指定校
(小学5年生が対象)

「その他」は、水俣に学ぶ肥後っ子教室事業以外の小学校の合計

(4) 季刊誌「エコタイムズ」の発行 (各6,800部)

● 91号

- 表紙：今こそ、環境について考えよう
- こどもエコクラブニュース：こどもエコクラブって何？
- 県からの情報：水銀フリーに係る出前講座を開催します！
(環境政策課)
環境教育の推進に向けて
(義務教育課)
県民の未来につなぐ森づくり事業
(森林保全課)
海洋プラスチックごみ『ゼロ』を目指して
(循環社会推進課)
水について考えよう
～川や海にやさしい暮らし～
(下水環境課)
- 環境センターイベント情報
- エコマンガ：グリーンカーテンの上級者になろう！
- 環境センターからのお知らせ
- 情報プラザ (図書コーナー) 特集



● 92号

- 表紙：環境センター前の芝生広場から見た景色
- 令和2年度熊本県環境絵画コンクール入賞作品の紹介
- 県からの情報：光化学スモッグやPM2.5に注意しましょう
(環境保全課)
県立学校における環境教育の取り組みに
ついて「学校版環境ISOの取組」
(菊池農業高等学校)
- 最近の環境問題について (小学校低学年向け)
- 環境センターイベント報告
- 県内施設案内：Welcome to 荒尾干潟水鳥・湿地センター
- エコマンガ：インターネットでつながって食品ロスを減らそう！
- 環境センターの感染症対策について
- 情報プラザ (図書コーナー) 特集



熊本県環境センター

〒867-0055 熊本県水俣市明神町55番 1号
TEL:0966-62-2000 FAX:0966-62-1212
【E-mail】 kankyo-center@dance.ocn.ne.jp
【HP】 <https://www.kankyo-kumamoto.jp/center/>



表紙の写真：上空より環境センターを望む



発行者：熊本県
所属：環境センター
発行年度：令和3年度